



2024年3月期 第3四半期 決算概要

2024年2月7日

カシオ計算機株式会社

全社連結実績

単位:億円

	第3四半期(10月~12月)		
	2022年度実績	2023年度実績	前年比
売上高	679	677	100%
営業利益	64	36	57%
営業利益率	9.4%	5.4%	
経常利益	54	36	66%
当期純利益	39	27	69%
1株利益(円)	16.47	11.78	

平均為替 レート (円)	米ドル	141.6	147.9
	ユーロ	144.4	159.1
	人民元	19.9	20.4

セグメント別実績

単位:億円

		第3四半期(10月~12月)		
		2022年度実績	2023年度実績	前年比
時計	売上高	413	447	108%
	営業利益	75	61	-14
	営業利益率	18.2%	13.6%	
コンシューマ	売上高	218	190	87%
	営業利益	13	2	-11
	営業利益率	5.8%	1.0%	
システム	売上高	34	30	89%
	営業利益	-6	-11	-5
	営業利益率	-	-	
その他	売上高	14	11	75%
	営業利益	0	-1	-1
	営業利益率	2%	-	
調整額	営業利益	-18	-15	3
合計	売上高	679	677	100%
	営業利益	64	36	-28
	営業利益率	9.4%	5.4%	

全社連結実績

単位:億円

	第3四半期(4月~12月)		
	2022年度実績	2023年度実績	前年比
売上高	2,012	2,013	100%
営業利益	165	118	72%
営業利益率	8.2%	5.9%	
経常利益	170	142	83%
当期純利益	122	100	82%
1株利益(円)	51.11	42.57	

平均為替 レート (円)	米ドル	136.5	143.3
	ユーロ	140.6	155.3
	人民元	19.9	20.0

セグメント別実績

単位:億円

		第3四半期(4月~12月)		
		2022年度実績	2023年度実績	前年比
時計	売上高	1,211	1,265	104%
	営業利益	203	168	-35
	営業利益率	16.8%	13.3%	
コンシューマ	売上高	653	628	96%
	営業利益	40	20	-19
	営業利益率	6.1%	3.3%	
システム	売上高	108	84	78%
	営業利益	-22	-25	-3
	営業利益率	-	-	
その他	売上高	40	37	91%
	営業利益	2	1	-1
	営業利益率	5.6%	2.2%	
調整額	営業利益	-59	-46	13
合計	売上高	2,012	2,013	100%
	営業利益	165	118	-47
	営業利益率	8.2%	5.9%	

単位:億円

	2024年3月期 通期計画
売上高	2,750
営業利益	180
営業利益率	6.5%
経常利益	200
当期純利益	140
1株利益(円)	59.84

今下期想定為替レート(円)

米ドル	145
ユーロ	153
人民元	19.8

単位:億円

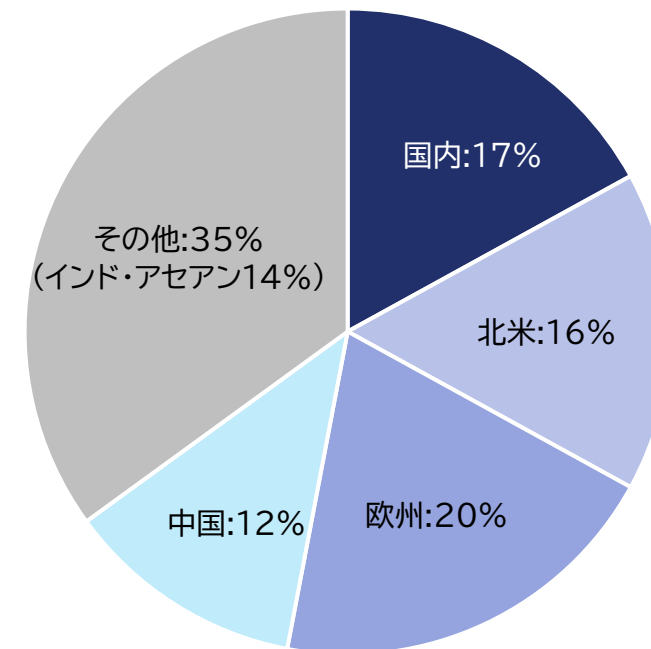
		2024年3月期 通期計画
時計	売上高	1,720
	営業利益	235
	営業利益率	13.7%
コンシューマ	売上高	860
	営業利益	35
	営業利益率	4.1%
システム	売上高	120
	営業利益	-25
	営業利益率	-
その他	売上高	50
	営業利益	0
	営業利益率	0%
調整額	営業利益	-65
合計	売上高	2,750
	営業利益	180
	営業利益率	6.5%

単位:億円

	上期実績	第3四半期(10月~12月)		通期計画
		前期	今期	
売上高	818	413	447	1,720
営業利益率	13.1%	18.2%	13.6%	13.7%

- 前期低調であった中国市場で一定程度の回復を見込むも想定より厳しい環境が継続
- 北米、アセアン地域の一部の国において消費動向の弱さが見られる

地域別売上高



※第3四半期実績(10月~12月)

G-SHOCK比率 (BABY-G含) 約53%(メタル約16%・プラスチック約37%)

G-SHOCK売上個数 約200万個 (内BABY-G 約20万個) ※前期3Q約210万個(内BABY-G 約20万個)

G-SHOCK(メタル・MR-G)

- 銀河の霞をイメージした『GCW-B5000UN』、兜をモチーフに伝統技法と先進技術を駆使した『MRG-B2000SG』など、40周年を記念した特別仕様の限定モデルが好調
- 中国で若者向けにSNSで訴求しているG-STEELシリーズが好調



G-SHOCK
『GCW-B5000UN』



G-SHOCK MR-G
『MRG-B2000SG』



G-SHOCK
G-STEEL
『GST-B100』

G-SHOCK(プラスチック)

- 『GA-2100』、『GA-B2100』など八角形フォルムの2100シリーズのバリエーション展開が欧州を筆頭に好調継続
- カーボン繊維強化樹脂ケースと高精度の鍛造技術によるメタル素材を融合したMASTER OF G MUDMASTER FLAGSHIPモデル『GWG-B1000』が人気



G-SHOCK
『GA-2100』



G-SHOCK
MUDMASTER
『GWG-B1000』

G-SHOCK(スポーツ)

- ランニング向け『GBD-200』、マルチスポーツ対応の『GBD-H2000』等、軽量化を図ったスポーツラインの「G-SQUAD」がグローバルで堅調



G-SHOCK
『GBD-200』



G-SHOCK
『GBD-H2000』



G-SHOCK
『DW-H5600』

その他

- CASIOブランド(ヴィンテージ・メタルアナログ)が欧米で好調継続



スタンダード
『MTP-1302D』



ヴィンテージシリーズ
『A168WG』

前年同期比(現地通貨ベース) 全体:+4%

国内:+2%

- ギフト需要の牽引などで直営店は好調
- G-Premiumは40周年モデルなどが牽引し、前年越えも期待値に届かず

北米:-5%

- 百貨店流通は一部で好調も全体としては低調
- 直販ECはポイントプログラムを11月に導入し、好調

欧州:+5%

- G-SHOCKブランドの人気の継続し、堅調に推移
- CASIOブランド(ヴィンテージ・メタルアナログ)が欧州のアナログトレンドをつかみ、好調継続

中国:+19%

- 消費動向の変化を引き続き注視
- 市場全体で厳しい状況が継続し、独身の日商戦期以降も実販の回復が期待を下回る

その他:+3%

- ASEANは一部の国で軟調な消費動向が継続
- インドでは初の大型アンバサダー(Shubman Gill/Vicky Kaushal)の起用などにより好調

地域別構成比(円ベース)

国内17%・北米16%・欧州20%・中国12%・その他35% (インド・アセアン 14%)

EC販売比率

全体 20%台半ば・国内 30%弱・北米 40%台半ば・欧州 30%台・中国 40%台半ば

自社EC販売

前年同期比 国内1.4倍・北米1.0倍・欧州1.1倍

■EdTech(教育)

単位:億円

	上期実績	第3四半期(10月~12月)		通期計画
		前期	今期	
売上高	333	132	123	600
営業利益率	12.1%	9.7%	1.7%	9.2%

※3Q実績

売上高 : 関数・一般電卓 約80% 電子辞書他 約20%
 営業利益率 : 関数・一般電卓 約11.6%
 営業利益 : 電子辞書他 約-9億円

- 期初の計画線で推移

■サウンド(楽器)

単位:億円

	上期実績	第3四半期(10月~12月)		通期計画
		前期	今期	
売上高	105	86	67	260
営業利益	-22	-0	-0	-20

- 巣ごもり需要の反動、インフレ影響により、厳しい状況が継続し、引き続き在庫調整に時間が掛かる
- 欧州では回復の兆しが見える

単位:億円

	上期実績	第3四半期(10月~12月)		通期計画
		前期	今期	
売上高	54	32	30	120
営業利益	-14	-6	-11	-25

HRソリューション事業(CHS)

- 人事統合システムADPS顧客のリプレース対応を継続
- リカーリングビジネスへのシフトを強化

電子レジスター(SA)

- インボイス制度開始による需要対応でBluetoothレジスターが好調

ハンディターミナル(PA)

- 収益性を考慮した受注対応を継続

小規模事業者向け経営支援事業(SMB)

- IT導入補助金の活用、インボイス制度に伴う対応継続
- 電子帳簿保存法対応による受注も堅調

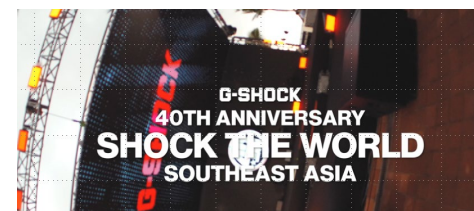
SHOCK THE WORLD(Shanghai)

- 2023年11月19日開催
- カンファレンス、ライブへ2,000名近い来場者
- STWと連動した企画を直営店舗で実施。ECはSTWと連動した生放送やSNS発信を実施
- STW後は主要都市でPOPUP企画を展開中



SHOCK THE WORLD(Bali)

- 2023年12月2日開催
- リージョンに影響力のある複数の国のメディアを招待
- アンバサダーのRich Brian、所属する88risingからもSNS発信
- ASEAN9カ国でイベントと連動する売り場を構築



SHOCK THE WORLD(Mumbai)

- 2023年12月16日開催
- 開催に向け、インド全土の店頭で各種キャンペーンを実施
- アンバサダーのShubman GillとVicky Kaushalを活用し、ビジュアルマーチャンダイジングを意識した店舗を展開



CELVIANO 新製品

- 新しい音響システムでグランドピアノが鳴り響くような自然な臨場感を実現し、タッチ感を調整するデジタル制御技術により、演奏性を実現
- 前面パネルに「ビジュアルインフォメーションバー」を搭載し、鍵盤・ペダルの動きやメトロノームなどをパネル上で視覚的に確認でき、ユーザー自身で演奏の課題や新しい気づきを見つけられる機能を搭載



		概況
時計		<ul style="list-style-type: none"> ・年末より急速に悪化した中国の消費動向を引き続き注視 ・注力地域であるインド・アセアンエリアは継続してマーケティング、STW後のプロモーションを強化 ・流通に合わせ、統一した店舗を再構築し、G-SHOCKのブランド向上を図る
コンシューマ		<ul style="list-style-type: none"> ・EdTech事業で収益を確保し、市場が低迷するサウンド事業をカバーし、セグメントでの計画達成を見込む
	EdTech	<ul style="list-style-type: none"> ・電子辞書はコロナ後で、実質正常化となる国内の学販に向けて注力 ・新たな営業体制において、商戦期の提案活動を強化中
	サウンド	<ul style="list-style-type: none"> ・巣ごもり需要後の需要減速の影響を受け、在庫調整が継続 ・CELVIANOの新製品を投入、高価格帯のラインアップ強化を継続
システム		<ul style="list-style-type: none"> ・赤字事業への対応を実施予定
調整額		<ul style="list-style-type: none"> ・新規事業への投資は厳格に管理し、投資を実行

事業環境に応じた各事業の成長戦略の策定と一段の筋肉質な体制とすべく構造改革を実施予定

補足資料

思い出のある“G-SHOCK”を修復する レストアサービスを実施



修理の様子

一人一人の思い出がつまった“G-SHOCK”を修復し、より長くご愛用いただけるよう、保守対応が終了したモデルの部品を交換するレストアサービスを2018年より実施。

今回は、これまでのサービスで好評だったモデルを再び対象とし、2023年12月5日～2024年2月29日の限定で、1983年発売の初代“G-SHOCK”「DW-5000C」や、そのデザインを受け継いだロングセラーモデル「5600」シリーズの第一弾「DW-5600C」など8機種 of 修復を受け付ける。

未来の耐衝撃構造をコンセプトにした VIRTUAL G-SHOCK NFTを販売



VIRTUAL G-SHOCK NFT

耐衝撃ウォッチ“G-SHOCK”の未来の耐衝撃構造をバーチャル空間で表現したNFT(非代替性トークン)「VIRTUAL G-SHOCK NFT」を、12月16日より限定2,000個にて販売。当社は、Z世代をはじめ新たなユーザーとの接点を広げるため、バーチャル空間でのコミュニケーションを推進するプロジェクト「VIRTUAL G-SHOCK」を2023年9月に開始。今後も「VIRTUAL G-SHOCK」プロジェクトを通じてさまざまな共創企画を実施し、新たなユーザー体験を提供する。

G-SHOCK 40周年を記念したドリームプロジェクト第2弾
人とAIの共創により独自の耐衝撃構造を実現した特別モデル



G-D001

今までにない試みとして、外装設計にジェネレーティブデザインの手法を採用し、人とAIの共創により、独自の有機形状を持つフルメタル耐衝撃構造を実現した世界に1本の特別モデル「G-D001」を発表。「G-D001」は、世界有数のオークションハウスであるPhillipsが米国ニューヨークで開催するオークション(2023年12月9日～10日)に、G-SHOCK G-D001をチャリティー出品※。落札予想価格を超える40万50ドルで落札された。

※収益金は北米の環境団体 The Nature Conservancy に寄付

電子ピアノ“Privia”「PX-S7000」が
「楽器店大賞2023」を受賞



PX-S7000

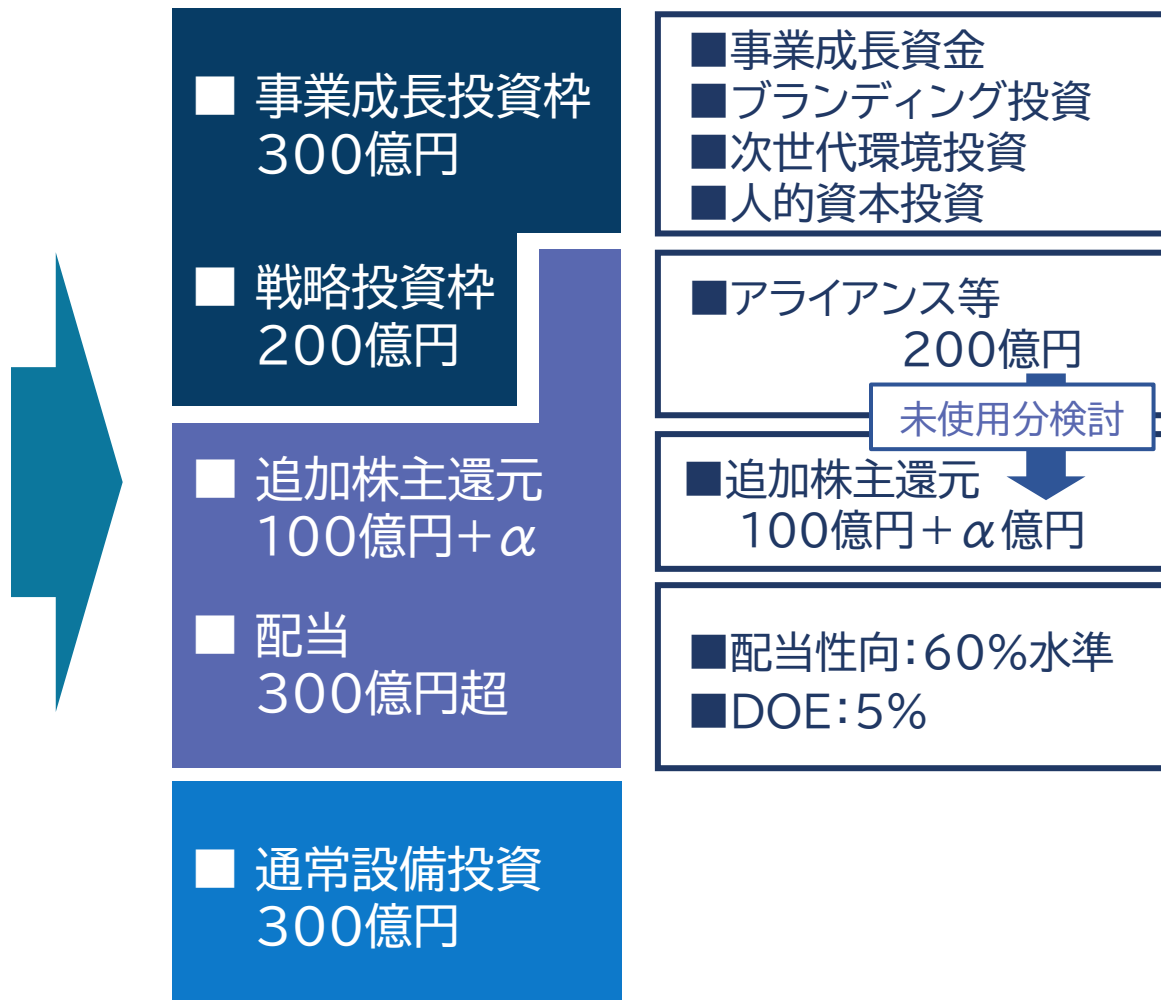
一般社団法人全国楽器協会が主催する「楽器店大賞2023」の商品部門「電子ピアノ／キーボード部門」においてPrivia「PX-S7000」が大賞を受賞。

Privia「PX-S7000」は、「iFデザインアワード2023」最高賞と「NY PRODUCT DESIGN AWARDS2023」の金賞／銀賞(2カテゴリー)に続き、今回で三件目の受賞。

キャッシュ配分原資 (3年累計)



キャピタルアロケーション (3年間)



・経費処理分は純利益を構成する為、結果キャッシュとして回収、翌期以降の成長投資枠に充当

・非連続的な成長実現の為の戦略枠
・未使用枠は追加株主還元も検討

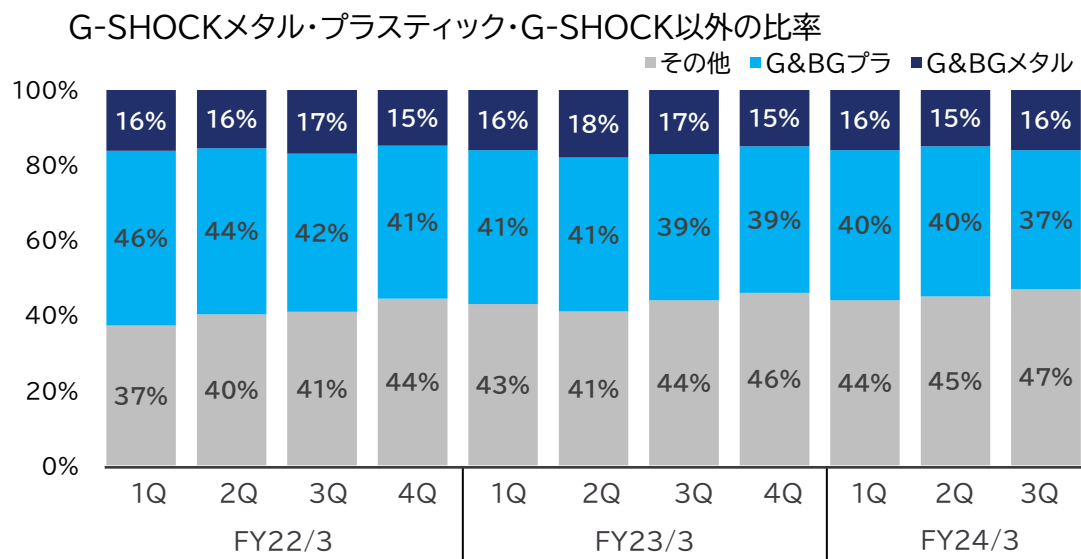
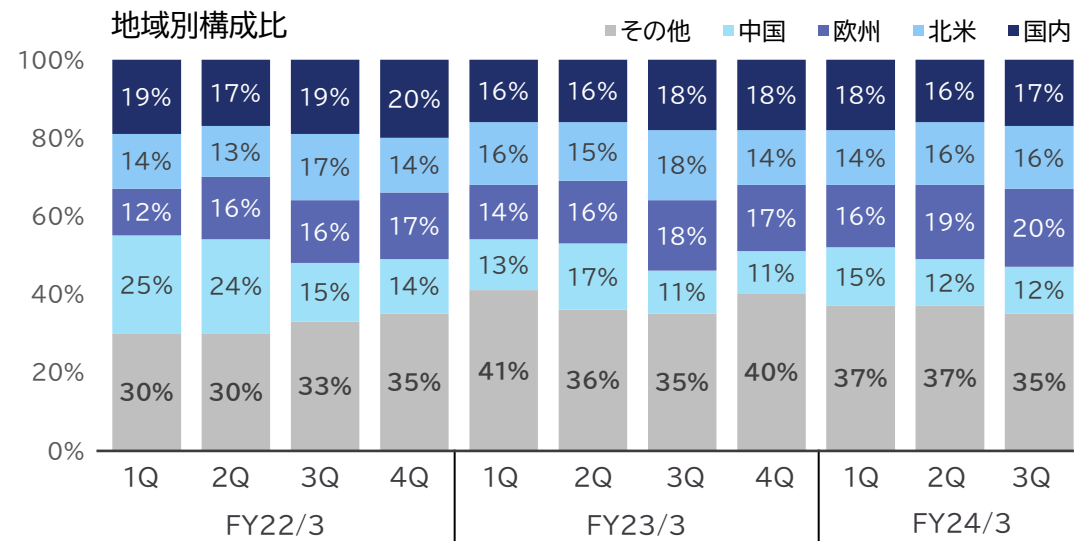
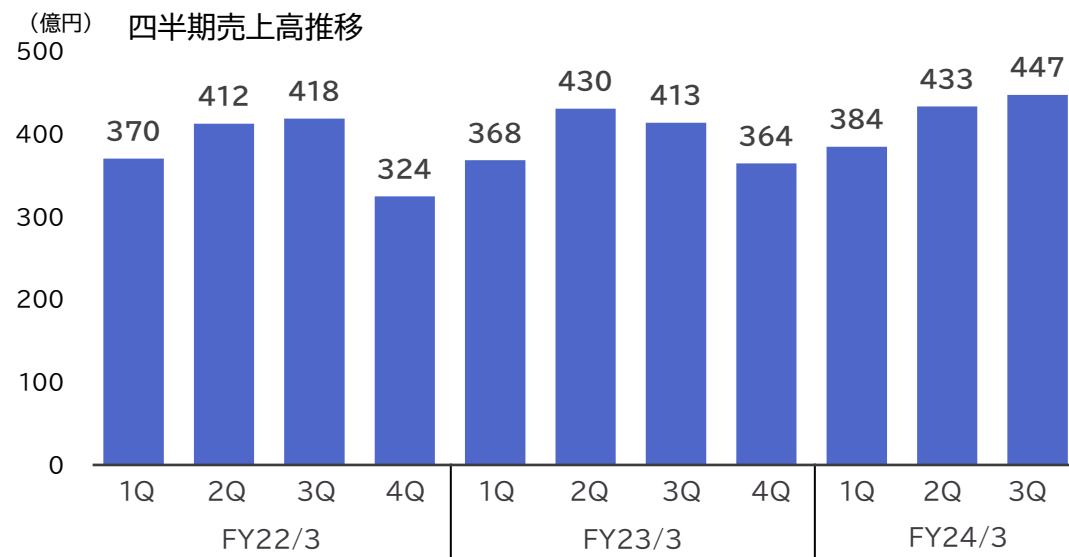
	2023年3月期 (前期)	→	2026年3月期 (3年後)	【方針】
ROE	5.9%		10%超	<ul style="list-style-type: none"> 資本コストを上回る資本収益性を確保 適切な戦略投資案件がない場合には、投下資本スリム化を検討
ROIC	4.7%		8%超	

ROIC = 税引後営業利益 ÷ 期首期末平均投下資本(有利子負債+純資産)

手元流動資金	1,307億円	→	1,000億円水準	<ul style="list-style-type: none"> 財務安全性を確保した上で、手元余剰資金を有効活用
自己資本比率	66%	→	60%強	

			(今後3年間平均)	
配当性向	82.3%	→	60%水準	<ul style="list-style-type: none"> 配当方針は業績連動かつ安定配当 事業成長投資枠や戦略投資枠を手元余剰資金で賄うことで株主還元の実現を図る
DOE	4.9%	→	5%水準	
総還元性向	99.4%	→	80%~120%	

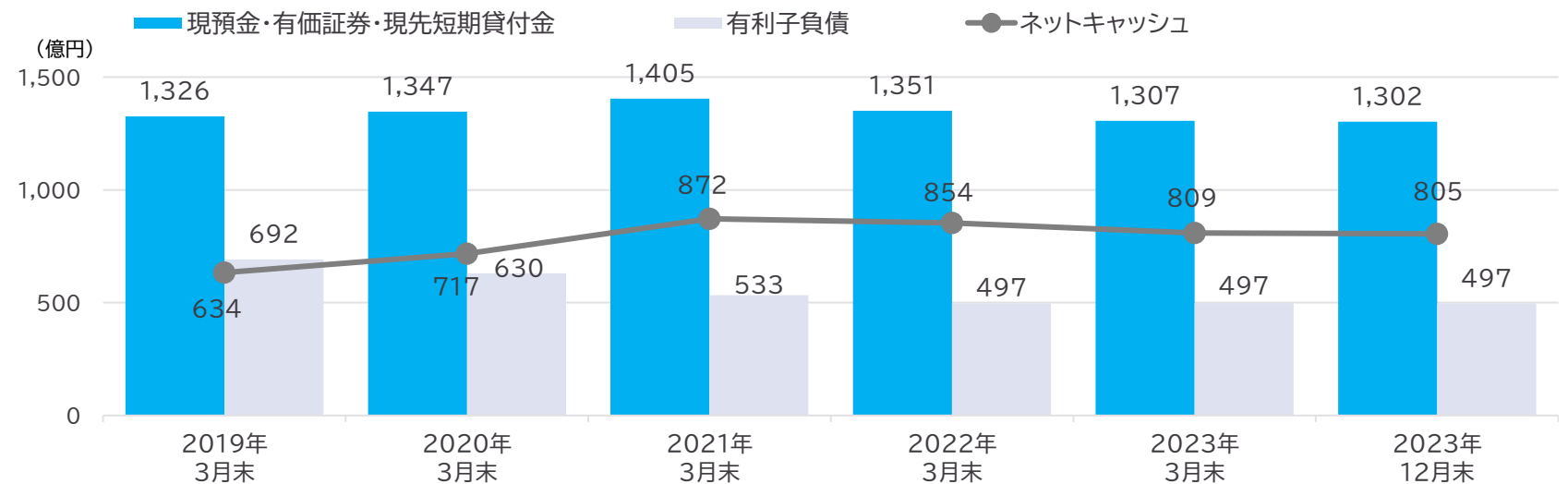
今下期想定為替レート(円)		為替感応度 1円(人民元は0.1円)の変動による影響額	
		売上高	営業利益
米ドル	145	10億円	-0.5億円
ユーロ	153	3.0億円	2.0億円
人民元	19.8	1.6億円	0.8億円



貸借対照表

単位:億円

	2019年3月期 3月末	2020年3月期 3月末	2021年3月期 3月末	2022年3月期 3月末	2023年3月期 3月末	2023年 12月末
資産合計	3,575	3,341	3,320	3,373	3,352	3,360
負債合計	1,459	1,316	1,201	1,184	1,136	1,175
自己資本比率	59.2%	60.6%	63.8%	64.9%	66.1%	65.0%
D/Eレシオ	0.33	0.31	0.25	0.23	0.22	0.23
現預金・有価証券・現先短期貸付金	1,326	1,347	1,405	1,351	1,307	1,302
有利子負債	692	630	533	497	497	497
ネットキャッシュ	634	717	872	854	809	805



本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの業績とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

CASIO